

大田の魅力 再発見

下丸子
Shimomaruko

ウォーク

武蔵新田
Musashi-Nitta

再発見memo

くららぼ多摩川 (矢口 1-21-6)
Creative Town Lab. TAMAGAWA
くららぼ多摩川は大田区矢口の工場長屋内にある、旧工場・旧事務所部分を改修して、魅力ある「モノづくりのまちづくり」を行うための地域交流拠点として誕生。火曜・木曜11~16時がOPEN DAY。詳細はHPにて。



再発見memo

多摩川七福神

南北朝時代の武将・新田義興が多摩川の矢口渡で謀殺されたという伝説に関連する様々な逸話や史跡が遺っている矢口・下丸子エリア。この地に暮らす人々を訪れる人々に、地域の歴史を知ってもらい、語り継いでもらいたいと、義興の逸話をたどる『多摩川七福神』が2014年に創設された。

多摩川七福神巡り [所要時間] 約1時間20分

- 武蔵新田駅
- ↓ 3分
- ① 新田神社
- ↓ 8分
- ② 頼兵衛地蔵
- ↓ 5分
- ③ 矢口中稻荷神社
- ↓ 7分
- ④ 氷川神社
- ↓ 6分
- ⑤ 延命寺
- ↓ 8分
- ⑥ 東八幡神社
- ↓ 8分
- ⑦ 十寄神社
- ↓ 4分
- 新田神社 ※裏面にて詳細



再発見memo

新田神社 (矢口 1-21-23)

1358年に再興を期し鎌倉へ向かう途中、矢口の渡りで謀殺、28歳で非業の死を遂げた南北朝の武将・新田義興の霊を慰めるために建立。江戸時代、この事件を浄瑠璃「心霊矢口渡」を著した平賀源内が、義興を葬った塚に生えている篠竹を使って魔除けの「矢守」を作ったのが破魔矢の元祖と言われている。

昭和の暮らし博物館 (南久が原 2-26-19)

戦後の庶民の暮らしを伝えるため、国の有形文化財の民家と生活資料をそのまま残した博物館。
時間:10~17時 / 開館日:金土日祝 / 入場料:大人500円 / TEL 03-3750-1808

蓮光院・大名屋敷門 (下丸子 3-19-7)

蓮光院の山門は、江戸時代末期の建築と推定される大名屋敷門で、出自は特定できていないが、現存する例が殆どなく都府文化財指定。昭和14年ごろに移築され、寺院の山門として武家屋敷門が使われている。

妙蓮塚三体地蔵尊 (下丸子 2-1-8)

南北朝時代、矢口の渡りで起きた新田義興謀殺事件。このとき、たった3名で対岸に渡り数百の敵に立ち向かい討ち死にした勇敢な家来がいた。後に、尼僧・妙連がこの地に彼等の霊を弔う為に地蔵尊を建立した。



大田観光協会刊
(2019年3月)
問合せ: 03-3734-0202

